

地域懇談会 意見対応表

項目	意見	意見への対応方針（回答）
生活環境	○ 町民が豊かに暮らすためには、町内の企業に退去されないようにすることが重要。騒音等による近隣住民の苦情が出ないよう、企業と住民、企業と行政とのコミュニケーションが必要である。	（ご意見のみ）
	○ 住みやすさなどの評価が下がった要因分析は行っているのか。重要課題に「防災」、「高齢化対策」、「子育て対策」が入っていないのは疑問だ。	若年層や世帯人数が多い方の評価が低い。田畑の減少、住宅の増加、交通量の増加などが上位の理由。町外に移りたい理由は、交通の便が悪いことが突出、教育、子育て環境が良くない、下水道等の都市基盤整備の遅れがつづく。本町の SWOT 分析の結果、構想案の4つが課題となったが、子育て、防災も重要な課題として検討したい。
	○ まちづくり指標の対象年齢はどのようなものか。	16歳以上の回答者の集計。
	○ アンケート結果は全国平均と比べるとどうなのか。	本町独自調査のため、全国平均というデータはない。
	○ 豊山と青山の地域格差が大きい。青山（調整区域）には商業地域はなく、買い物場所もない。タウンバスも豊山と青山から乗車するのでは料金設定が異なる。	調整区域の在り方は、住民の想いを受けとめ、町がまとめて対応していきたい。タウンバスは、民間事業者との関連もあり、住民の意見、ルート、運行回数も含め改善していきたい。
	○ 町外からの転入者を対象とした調査を行った方が豊山町の住みやすさの割合が明確な気がする。	質問項目でどこから転入したのか、いつ転入したかなどを取り入れ、分析に活かしていきたい。
	○ 三菱や空港関係の駐車場が増え、細い道でも町外の方が歩いている。夜間は街灯がなく、暗くて危険であるが、どのように考えているか。	課題として認識済。防犯灯の増加方法、道の安全確保について、実施計画の中で落とし込みたい。
土地利用	○ 住宅と工場が混在するなど、土地利用がはっきりしていない。	都市計画マスタープランの策定過程では、公募によるワークショップを4回、全体構想がまとまった時点で住民懇談会を開催して住民の声をいただく場を設ける。
	○ 土地利用構想の策定には、住民の参画はあるのか。ぜひ参加してみたい。	
	○ 子どもが逞しく育つために、自然と触れられる場所があると良い。	
	○ 土地利用構想で、地域商業拠点が伊勢山交差点に位置づけられているのはどのような考えからか。	配布資料（P24）「地域商業拠点」の注釈に記載しているように、当該地域を商業地点と位置づけている。都市計画でもそう位置づけている。
	○ 人口、世帯数は今後も増えるが、住宅が増えると緑が減り、アーバンビ	緑については、都市計画上、開発できない調整区

	レッジと整合しなくなるのではないか。	域がある。ただ、調整区域をどうしていくか検討していく必要がある。
	○ 土地利用構想で、神明公園の今後について知りたい。	憩いと緑の拠点として位置づけている。
	○ 給食センターの1階を給食センター、2階を避難所とすると、青山としてはさざんかと給食センターを避難所とできてよいのではないか。	給食センター2階は、災害時の炊き出し拠点施設機能。避難所として相応な機能は持っていない。
	○ 産業振興拠点の具体的な目途はたっているのか。	現在、具体的な目途はたっていない。
	○ 人口増見込みは自然増だけによるものか。土地利用転換（調整区域の市外化区域編入）により、人口増をするなど施策的なことを行う予定はあるのか。	人口増加が見込める要因として、市街化区域の開発可能な用地に町外からの転入予想がある。現在、調整区域を市街化区域編入して世帯を増やす予定はない。
	○ 行政に使う土地を安く仕入れるため、調整区域であるうちに開発許可を受け、収用しないと高くなってからでは開発が難しいと思う。	行政目的がない土地は購入できない。必要なステップを踏む必要がある。
行政運営	○ 以前、合併の話が出たことがあるが、どういう状況なのか。	選挙後に北名古屋市長がお話に来られたことがあったが、その後は何も話はない。住民の意向を踏まえ、本当にその時期が来ているのか考え、豊山町にとってのメリット、デメリットをしっかりと精査した上で進むべき方向を決めるべきことと考えている。そういう時がきたら検討に入りたいと思う。
	○ 計画の進行管理にPDCAサイクルの前に「現状把握」を加え、問題点を明確にしてからサイクルを回してほしい。	「現状把握」からしっかりやっていきたい。具体的事業は3年単位で随時見直すため、その中できちんとチェックしていきたい。
	○ 豊山町として、「小さくてキラリと輝くまち」にするため、空港、北部市場とどのように関わっていくつもりか。	町がお金を直接落とすことは難しいため、汗をかいてできることをやっていきたい。
	○ 人口増加は企業のおかげであると思う。スペースジェットの動向に左右されるかもしれない。魅力的なまちにしていくという考え・回答があれば教えてほしい。	企業とも連携を進めており、年1回主要な企業との会議を設けている。より密接な関係を持ちながら豊山町の発展に繋げていきたい。
	○ 全国的に有名になり、県外からも来訪される方も増えているが、豊山町でお金を消費してもらおう方策・仕掛けを考えているのか。	現状、決め手となる方策はない。来訪者は増えているため、商工会と話し合いはしている。現在の取組内容は、菓子や食事メニューの開発・検討など。行政として、何を支援できるか検討中。

交通機関	○ 豊山町の弱みは公共交通。交通が不便だと、子どもの通学ができずに居住地として避けてしまうことがある。	公共交通の充実に住むうえでウェイトが高いことは把握済み。今ある交通資源を有効活用したい。
地域コミュニティ	○ 豊山の自治会加入率が55%と他市町（7、8割）より低い。加入率を数値目標に入れてほしい。	町内でも地区によっては、100%の地区もあり、差がある。地区ごとに取組の違いがあるため、意見交換ができれば改善できるかもしれない。
	○ 地元の人が町外から転入された方を「よそ者」扱いするが、そういう目で見ず、若い人と高齢者が一緒に手を組める取組を考えてほしい。	転入者と地元の方が「普通の関係」を構築できる環境づくりに、行政として取り組むべきだと考えている。
町民討議会議等資料	○ 有識者懇談会だけでなく、町民討議会議や中学生ワークショップでの意見・提案も示してほしい。	双方ともに、議事録や成果物などを踏まえ、町のウェブサイトで公開したい。
計画策定について	○ 総合計画は10年の期間となっているが、長すぎるのでは。5年ぐらいで見直しする考えはないのか。	基本構想は10年だが、前半の5年を前期基本計画、後半の5年を後期基本計画としており、前期の5年が終わる時点で見直しを行う。
	○ アピタから北部市場、航空ミュージアムからboon、boonから北部市場といった軸を考えていただいたので、より具体性をもって進めてほしい。せっかく航空宇宙産業クラスター特区をしているので、国から予算を取るような大きな構想を描いてほしい。	ご意見いただいた件について、汗をかいて頑張っていきたい。
	○ 「将来的に、高齢化は進むが人口減少は進まない魅力的なマーケットが継続」、「他市町ほど高齢化が深刻でないため。少子高齢化に神経質にならず、働く世代の交流を重視すべき」とはどういう意味か。	他市町や全国平均と比べて、人口減少や高齢化の進行度が低いと、現役層や若年層向けのまちづくりを進めたら良いのではないかという有識者の意見。ただ、全般的には高齢化や人口減少は進むため、基本的な政策は打っていくつもりだ。
	○ 計画策定にあたり、豊山町がモデル・参考としている自治体はあるのか。	特別に意識している自治体はない。